



2008 年(平成 20 年)10 月 9 日

各 位

東燃ゼネラル石油株式会社
東京都港区港南一丁目 8 番 15 号
代表取締役社長 鈴木 一夫
(コード番号: 東証第一部 5012)
問合せ先:
エクソンモービル有限会社
広報渉外部
Tel: 03-6713-4400

**東燃ゼネラル石油(株)の子会社がバッテリーセパレーターフィルム生産施設の
起工式を開催 ～ リチウムイオン電池の需要増に対応**

10 月 9 日、東燃ゼネラル石油の全額出資会社である東燃機能膜韓国有限会社は、バッテリーセパレーターフィルムの新規生産施設の起工式を行いました。バッテリーセパレーターフィルムは、マーケットが急成長するリチウムイオン電池の主要部品であり、今後ハイブリッド自動車や電気自動車へ普及していくことが期待されています。

起工式は、生産施設の建設予定地である大韓民国の亀尾市(Gumi City)において、慶尚北道(Gyeongsangbuk-Do Province)の金寛容(キム・カンヨン)知事や南洵鎮(ナム・ユーチン)亀尾市長をはじめとする韓国政府高官出席の下に行われました。

東燃機能膜韓国有限会社の取締役である A. R. パーデューは次のように述べています。「新しいバッテリーセパレーターフィルム生産工場では卓越したテクノロジーとサービスを通じて、顧客の要望によりの確に答えられるようになるものと確信しています。今回、韓国の亀尾市への投資が実現でき大変喜ばしく思います。この投資により、リチウムイオン電池市場における私たちの全顧客層への供給能力が飛躍的に向上すると思われます。」

東燃ゼネラル石油は、今回の生産施設の建設を通じて、バッテリーセパレーターフィルムの需要増に対応し、その事業規模を拡大していくことを目指しています。新規生産施設は年間 3 千万平方メートルのフィルムを生産する能力を有する予定です。また、建設用地は、生産能力拡大の余地を十分残しております。生産施設の稼働時期は 2009 年中を見込んでいます。

新規生産施設では、東燃ゼネラル石油の先進的なポリマー技術ならびにプロセス技術、およびエクソンモービル・ケミカルの新しい技術基盤を採用することで、高品質かつ高性能なバッテリーセパレーターフィルムが製造されます。

リチウムイオン電池は、携帯電話やラップトップコンピューター、さらには次世代のハイブリッド自動車や電気自動車にも使用されています。この新しいフィルム技術により、リチウムイオン電池の容量、安全性、信頼性は飛躍的に向上すると思われます。さらには、この技術によって、より小型化、軽量化された電池が、次世代の低(CO2)排出自動車向けに採用される動きが加速していくものと期待されます。

以 上

東燃ゼネラル石油について

東燃ゼネラル石油株式会社はエクソン モービル コーポレーションの関連会社で、石油および石油化学製品の製造や販売業において日本のリーダーとしての地位を築いております、また、リチウムイオン電池向けセパレーターフィルムの生産規模においては世界有数のメーカーです。

詳しくは <http://www.tonengeneral.co.jp> をご覧ください。

エクソンモービル・ケミカルについて

エクソンモービル・ケミカルグループは、技術、製品の品質、顧客サービスにおいて世界のリーダーとしての地位を築いており、石油化学製品の製造や販売を展開しています。詳しくは www.exxonmobilchemical.com をご覧ください。

注記:

エクソンモービル・ケミカル及びエクソンモービル・ケミカルグループとは、世界各国で化学品の製造や販売業を行うエクソン モービル コーポレーションの関連会社の全て、またはその一部を総称しています。